

## パッケージの内容および提供機能

### ■クライアントパッケージ

運用管理業務におけるコンソールを提供します。  
運用管理に必要な情報をグラフィカルに表示します。

### ■マネージャパッケージ

クライアントから入力されたオペレーションに従って運用管理機能を提供します。  
各種定義情報・結果情報の保持や、監視対象のコンピュータの制御を可能にします。

### ■エージェントパッケージ

管理対象であるコンピュータをマネージャから運用管理することを可能にします。

## 動作確認済みプラットフォーム

### ■クライアント

Redhat Enterprise Linux AS 4  
JavaVM : JRE 1.5  
Eclipse 3.1.1

### ■マネージャ

Redhat Enterprise Linux AS 4  
JavaVM : JRE 1.5  
JBoss 4.0.3SP1  
OpenLDAP 2.3.20  
PostgreSQL 8.1.3  
FTPサーバ  
syslog-ng 1.6.9  
メールサーバ (イベントのメール通知を行う場合必要)

### ■エージェント

Redhat Enterprise Linux AS 4  
JavaVM : JRE 1.5  
リモートシェル (sshd/rshd)  
NET-SNMP 5.1.2  
syslog-ng 1.6.9

## ハードウェア推奨スペック

### ■クライアント

CPU : Pentium 4 2.80GHz以上  
メモリ : 1GB以上  
HDD : 72GB以上  
ディスプレイ解像度 :  
1280×1024以上

### ■マネージャ

CPU : Xeon 2.4GHz以上  
メモリ : 2GB以上  
HDD : 72GB以上

### ■エージェント

CPU : Intel系CPU (Pentium III以上)  
メモリ : 1GB以上  
HDD : 8GB以上

## 提供サービス

### ■Hinemos導入コンサルテーション・設計支援

お客様のシステムにHinemosを導入するにあたり、ジョブ管理や監視管理の実現および導入方法といった、事前検討・導入手順策定・システム設計支援など、Hinemosのプロフェッショナルコンサルテーションサービスを提供いたします。

### ■Hinemos保守サポートサービス

問い合わせ対応、障害対応、バグフィックスパッチ提供など、お客様に安心してHinemosをご利用いただけますよう、保守サポートサービスを提供いたします。

## 本ソフトウェアおよびサービスに関するお問い合わせ先

株式会社NTTデータ  
基盤システム事業本部  
オープンソース開発センタ

TEL: 03-3523-8122 FAX: 03-3523-8015  
E-mail: [osdquery@nttdata.co.jp](mailto:osdquery@nttdata.co.jp)  
<http://www.nttdata.co.jp/services/hinemos/>  
<http://sourceforge.jp/projects/hinemos/>

Hinemosは独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の2004年度オープンソフトウェア活用基盤整備事業の委託を受け、開発テーマ名「分散ファシリティ統合マネージャの開発」にて開発しました。  
<http://www.ipa.go.jp/software/open/2004/result.html>

※ Linuxは Linus Torvalds氏、米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。その他の会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

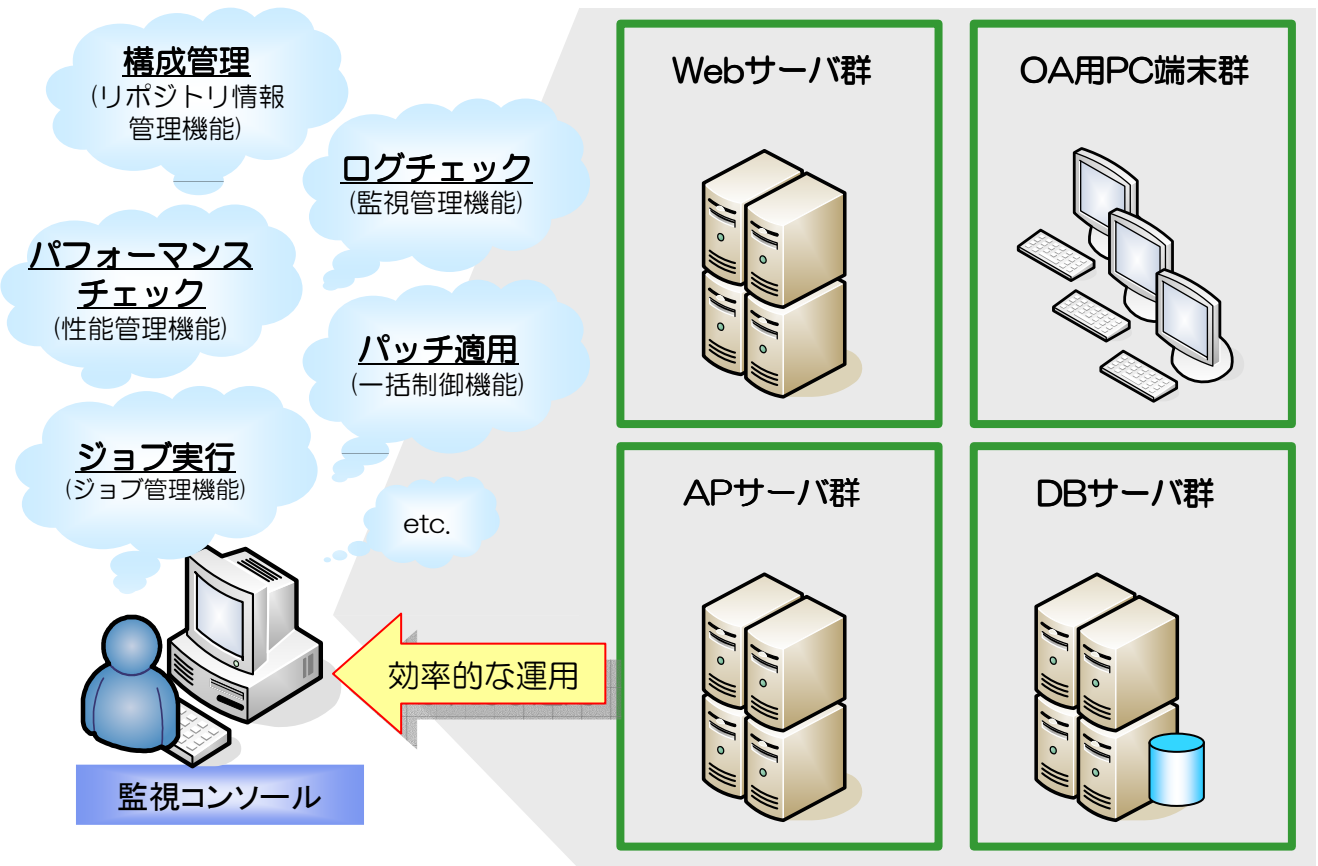
# Hinemos Ver. 2



コンピュータ群の一元的な運用管理はHinemosにおまかせ

今日のエンタープライズシステムにおいて、コストパフォーマンスの高いオープンソースソフトウェアの利用は必要不可欠です。しかし、既存オープンソースソフトウェアでは、統合的な運用管理に必要な機能や連携が十分とはいえませんでした。

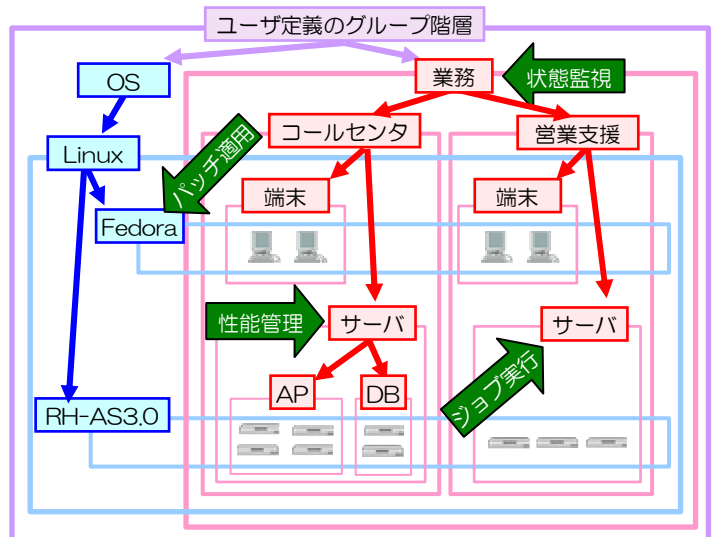
Hinemosは、複数のコンピュータを単一のコンピュータのイメージで運用管理することを実現するオープンソースソフトウェアです。ユーザが運用目的に応じた監視や操作をGUIで容易に行う環境を提供します。



## Hinemosの特長

Hinemosは以下を特長とする運用管理のオープンソースソフトウェアです。

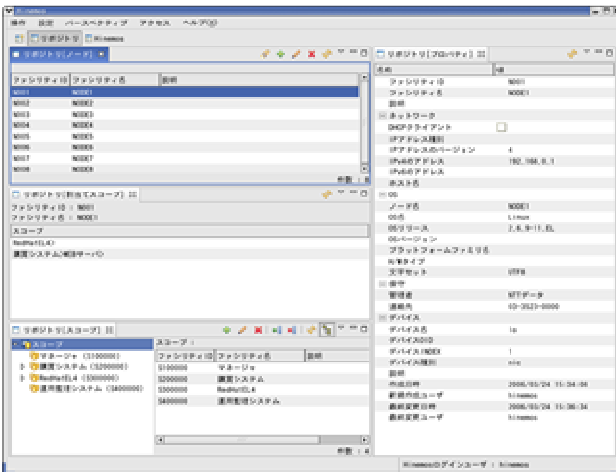
- 管理対象となるコンピュータに関する情報を「リポジトリ」という形で集中管理しています。
- 用途に応じたグループ階層を構築し、管理対象(ノード)を複数のグループに登録することができます。
- グループ単位でパフォーマンスチェックやジョブなどを表示・実行することができます。



# Hinemosの機能

## リポジトリ情報管理機能

Hinemosでは管理対象となるコンピュータに関する情報を「リポジトリ」という形で集中管理しています。このように、リポジトリ上管理機能は、Hinemos全機能で共通に利用する基盤機能です。Hinemosで実現する性能管理機能やジョブ管理機能など各種機能が共通で使用される、グループ（利用者が目的に応じて定めたノードの組み合わせ）・ノードの構成情報を管理するマスタ管理機能です。一つのノードを複数のグループに登録することが可能ですので、ハードウェアスペックの観点や業務システムの観点など、異なる観点から作成したグループに、同一ノードを登録できます。



リポジトリ情報管理機能画面

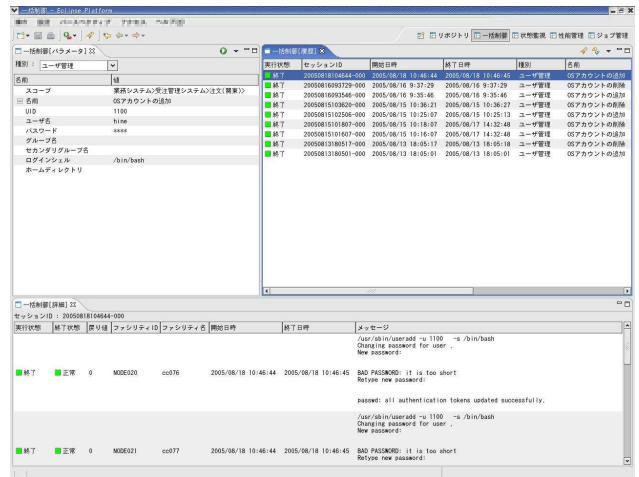
リポジトリ情報管理機能では、コンピュータ群の構成情報から資産管理情報まで登録可能です。さらにその情報をグループ化・階層化して管理可能です。またリポジトリ情報管理機能で登録したグループ・ノード構成は、Hinemosの各種機能で処理を実行する際のデータベースとして利用されます。例えばセキュリティパッチを一括で適用したい場合、実行対象をグループ単位で指定することで、指定したグループに属する全てのファシリティに一括適用することができます（後述の一括制御機能）。

このように本機能により、作業対象ノードの抽出作業の省力化、同一操作の削減、グループ単位での情報表示、人的ミスの回避、運用コスト・リスクの削減などが期待できます。

## 一括制御機能

Hinemosでは複数のノードに対して一括で処理を実行することができます。

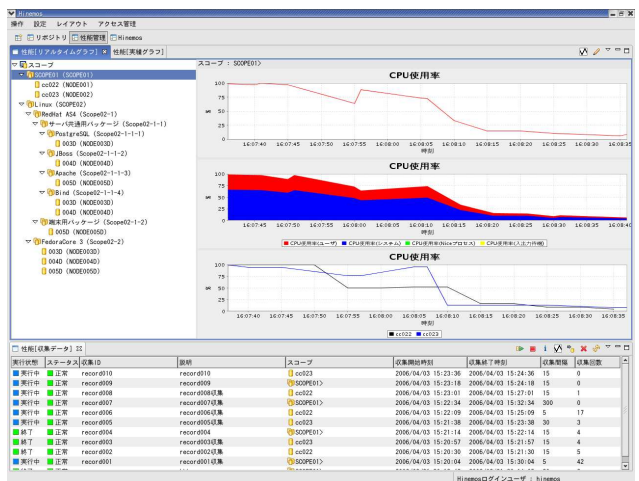
一括制御機能により、パッチの適用(RPM)、ノードの停止・再起動、ファイルの作成、OSアカウントの作成などを簡単なGUI操作のみで、容易に実行することができます。



一括制御情報管理機能画面

## 性能管理機能

HinemosではCPU・メモリ・ディスク・ネットワークのリソース情報を、グループまたはノード単位で管理することができます。性能管理機能では現在のリソース情報をリアルタイムでグラフ表示するリアルタイム性能グラフ表示機能と、指定したリソース情報を指定した期間取得する実績性能情報収集機能の2つがあります。

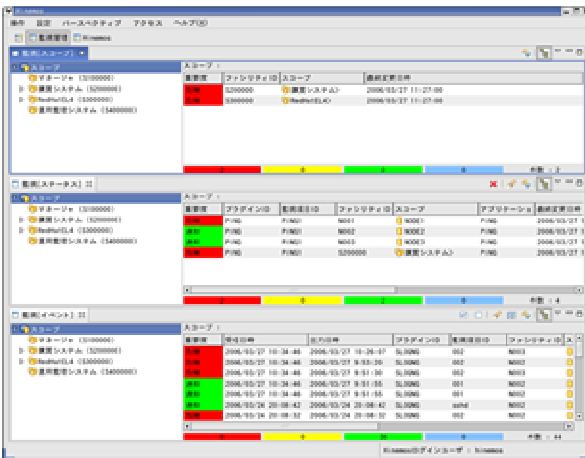


性能管理機能画面

実績性能情報収集機能で蓄積された収集データは、グラフ表示やCSV形式でのファイル出力を行うことができます。

## 監視管理機能

Hinemosでは監視対象のイベントログ情報やステータス情報など画面上で確認できます。監視管理機能はノードの状態を監視する機能を提供しています。



監視管理機能画面

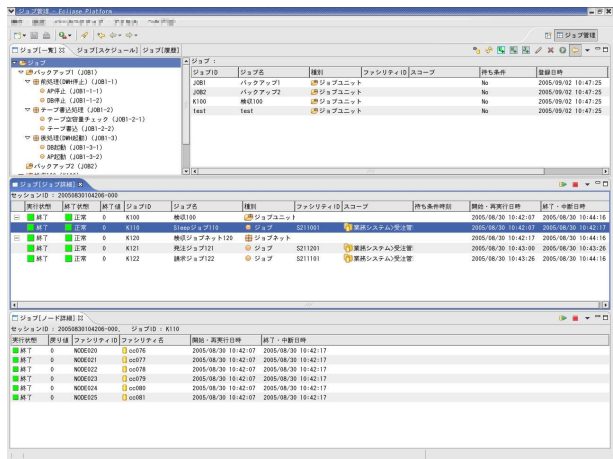
監視管理機能では、イベントログなどの監視情報をグループ単位で切替表示することが可能です。また、対応が完了し表示不要となったログを表示から外すことにより、必要なイベントのみ表示させておくことが可能です。

また、監視方式として、ログ監視、SNMP監視、SQL監視、プロセス監視といった複数の監視手段を提供し、用途や目的に応じた監視をすることができます。さらに、監視結果をメールで通知する機能も備えているため、関係者に対して迅速な周知を行うことができます。

## ジョブ管理機能

ユーザ作成ジョブを、複数ノードで連携させて定義・実行する機能です。ジョブ(ネット)の定義、任意ジョブ(ネット)からの開始、停止、中断、再開などを行うことが可能です。実行中のジョブの進捗状況や実行完了したジョブは一覧画面で確認することができます。

ジョブで実行するコマンドの引数指定や実行ユーザの指定が可能です。また、後続するジョブの起動判断を先行するジョブの処理結果の値(終了値)により指定することができます。それにより1つのジョブの終了時に複数のジョブが開始するように指定することもできます。さらにスコープ内の少なくとも1ノードで開始が成功するまで順にスコープに属するノードで実行(リトライ)できるなど、きめ細かなジョブの制御が可能です。



ジョブ管理機能画面

## Hinemosの導入形態

- インストールパッケージは、クライアント用・サーバ用・ノード用で構成されます。
- クライアント用とサーバ用のインストール構成を変えることで、小規模から大規模まで利用環境に応じた構成をとることが可能です。

